

2

学年

3観点に即した改善プラン

①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等

③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業における具体的な手立て	年度末評価(2月)
国語	①知識・技能	文章を読み、情報と情報との関係をどのように捉えたかを1人1台端末等を用いて生徒同士で共有し、理解を深める。 文法の授業において、生徒の学び合いを重視し、分かることだけでなく分からないことも共有できるようにする。	
数学	②思考力・判断力・表現力等	解き方に関して、過程を重視し一人一人が自分の考えをもち、お互いに説明し合うことで多様な考え方を身に付ける。どうしたら答えにたどりつけるか考えることで③学びに向かう力・人間性にもつなげる。	
英語	②思考力・判断力・表現力等	スピーキングテストに向け、即興での英語質問に答えられるように、帯活動として英会話を行う。同じ質問で、ペアを変えて、聴き取った内容をメモし、話した内容を振り返る活動を繰り返すようにする。	
社会	②思考力・判断力・表現力等	板書をICTを活用して行い、書くことに取られていた時間を、自己の考察の時間・互いの意見の共有の時間として充実できるようにする。	
理科	②思考力・判断力・表現力等	通常4人一組で行っている、観察・実験等で結果・考察に関する話し合いと発表を積極的に取り入れて、様々な考え方や意見を共有していく。	
音楽	②思考力・判断力・表現力等	主体的・対話的で深い学びを目指し、4人一組やグループでの話し合い活動を積極的に取り入れていく。またICTの活用によって互いの意見を共有し、音素材をそれぞれが確認できるようにすることで学びを深めていく。	
美術	③学びに向かう力・人間性等	絵具の片付け後など、合間の時間に主体的に美術に関する活動を行うことが習慣化するよう、声をかけ、意識づけていく。	
保健体育	① 思考力・判断力・表現力等	男女共習の授業を通して、互いのよさを比較したり、認め合ったりすることで判断力や表現力の育成を図る。 1人1台端末を活用し、動きを可視化することで課題発見やその解決方法を考えたり、意見を出し合ったりする時間を意図的に設ける。	
技術 家庭	技術②思考力・判断力・表現力等 家庭③学びに向かう力・人間性等	実習では班ごとに学び合いを取り入れ、深い学びを実践している。1人1台端末を活用し、実習のポイントをイメージできるようにする。 布を用いた小物の制作では、製作手順を読み、自ら考え、ICTを活用し、動画を見て復習する、班で情報共有するなど、主体的・対話的な深い学びを実践する。	